

日本退職教職員協議会  
県各単会 会長様

日本退職教職員協議会  
会長 西澤 清

### 第3回日退教福島学習の旅

#### 「福島原発事故から7年半－『福島』の今を福島で学ぶ」

東日本大震災・福島原発事故から7年半が過ぎ、依然として事故の収束作業は難航し、廃炉に向けて最も難関といわれる熔融燃料（デブリ）の取り出し作業は、極端に高い放射線に阻まれています。現在までデブリの全容を把握するには至っておらず、取り出しの技術の確立の目処も立っていません。政府・東京電力は、デブリの取り出し開始を2021年内、廃炉完了の目標を2041年から2051年と時期を示していますが、さらに長期化するものと考えられます。

帰還困難区域を除いた、居住制限区域・避難指示解除準備区域では、除染作業によって年間被ばく量20mSv/年を基準に、それを下回る地域から避難指示が解除されています。しかし、20mSv/年という数字は、これまでの通常時の基準（1mSv/年）の20倍もあり許されるものではありません。避難指示解除に合わせて、帰還を強要するかのよう住宅支援などの補償が打ち切られています。被害者は、高放射線量までのヒバクを覚悟して戻るか、補償が打ち切られても避難し続けるのかのきびしい選択を迫られています。そこには、政府の被害者に寄り添う姿勢が全くありません。福島原発事故の早期幕引きと被害の矮小化を図り、被害者を切り捨てようとする「棄民」政策と言わざるを得ず、許せません。

日退教は2016年、17年に、脱原発社会の実現をめざす運動の一環として、現地福島県退教の協力を得て、「福島学習の旅」を実施してきました。今年度も現地退教の協力のもの第3回学習の旅を実施いたします。

各単会会員の皆様の積極的な参加を要請いたします。

#### 記

- 1 日 時 2018 年 11 月 25 日（日）～26 日（月）
- 2 会場・宿泊 福島県飯坂温泉 公立学校共済組合飯坂保養所 あづま荘
- 3 行程（予定）

11 月 25 日（日）

13：30 受付（あづま荘・学習会会場）

14：00～16：30 講演・学習会

講演 「避難校からみた原発震災～教育実践を通して～」

講師 柴口正武さん（浪江中学校教諭）

18：00 交流懇親会

宿泊

11月26日（月）

8：30～ あづま荘発 バスにて被災区域へ  
コース検討中です。

16：30 福島駅（予定）着 解散

4 募集人員 35名（先着順とさせていただきます）

5 費用 2万円  
1泊3食（交流懇親会・視察時昼食弁当含む）、バス代・講師謝  
礼等全て含む。

6 申込・締め切り 11月2日（金） 別紙申込用紙にてFAXでお願いいたします。

7 その他 （1）当日あづま荘集合となります。  
（2）基本的に男女別相部屋となります。  
（3）詳細は参加者に別途連絡いたします。

以上

「福島学習の旅」参加希望・予定される方へ 近県の方は下記学習会・集会へぜひ

2018年10月11日（木）五者学習会において、朝日新聞社会部記者青木美希さんの「福島からの避難者の今－記者から見た現実」と題する講演があります。（午後1時45分から 会場ルポール日教済）

なぜいま福島か。何が起きているのか。無関心が生み出す被害

世間の関心が薄まり、報じられなくなっているのを背景に、支援が打ち切られ、避難者はより苦しんでいる。この4月にも3人が自殺、7月にも1人が自ら命を絶った。帰れない町に戻って、避難先で……。震災関連自殺は215人に及ぶ。

浪江町の小中学生は原発事故前には1600人を超えていたのに、いまは11人。何が起きているのか。

【地図から消される街】

- 避難者いじめ
- 大学中退

翌10月12日（金）には日退教組織活動交流集会で福島退教からの報告も予定されています。

### 第3回日退教福島学習の旅

「福島原発事故から7年半－『福島』の今を福島で学ぶ」

#### 参加者申込み名簿

申し込み日 2018年 月 日

単会名	
連絡責任者	

参加者お名前 (年齢)	(〒) 住 所	電話《できれば携帯》	Fax
( )	(〒 )		
( )	(〒 )		
( )	(〒 )		
( )	(〒 )		

参加者申し込み締め切りは 11月2日(金) です(先着順とさせていただきます)

日退教 FAX 03-5275-2081